

会報誌編集委員会から

論文誌「塑性と加工」・会報誌「ぷらすとす」の電子化について

一般社団法人 日本塑性加工学会

会 長 北村 憲彦

会員の皆様には、日頃から学会運営に対してご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、日本塑性加工学会では昨今、DX（デジタルトランスフォーメーション）や脱炭素社会に向けた取り組みが積極的に進められている中で、論文誌編集委員会・会報誌編集委員会の取り組みとして、会員の皆様への高品質なサービスのご提供を目的として、論文誌「塑性と加工」および会報誌「ぷらすとす」の電子化への移行を検討しておりました。その一環として、電子化への移行について会員の皆様へアンケート方式によりご意見を徴収したところ、次の項目で示すように概ね賛同していただく結果となりました。この結果も踏まえて、3月28日に開催されました第57期第648回の理事会において、論文誌「塑性と加工」および会報誌「ぷらすとす」の電子化への移行が正式承認されました。両誌に掲載されている論文および解説系記事は既に電子媒体でJ-Stageで公開されておりますが、今回は会員の皆様に毎月配布している冊子全体を電子媒体（PDFを予定）により配布します。開始時期は2023年4月号を予定しております。なお、冊子体での郵送を希望される会員・賛助会員の皆様には別途費用にて従来通り提供する予定で、その希望調査を今年の10月頃に実施する予定です。論文誌・会報誌編集委員会ではこれまで以上に内容の魅力向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

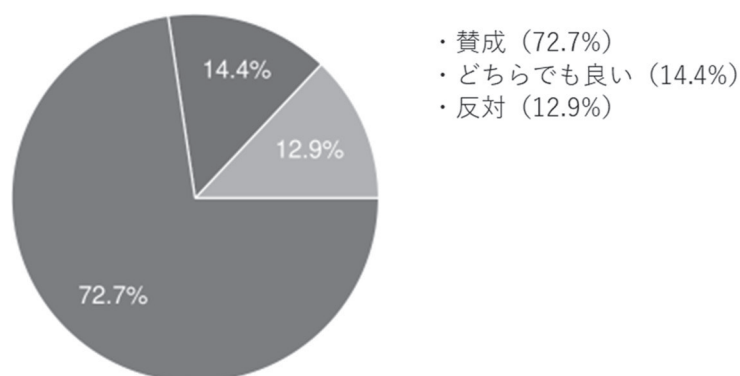
以上

論文誌・会報誌編集委員会からの電子化に対するアンケート結果についてのご報告

2022年3月11日に学会誌電子化についてインターネットにより会員に対してアンケートを実施し、139名の会員から回答を得ました。回答のご協力を頂きました会員の皆様には厚く御礼申し上げます。電子化への移行に対しては賛成が73%、反対13%、どちらでも良いが14%であり、賛成意見が多数でありました。電子化を支持する理由として、図や写真のカラーの無償化、項数制限の緩和または撤廃、保管場所が不要といった意見が寄せられました。一方、主な反対意見としては、「社内回覧ができない」、「読みにくい、読まない」、などの意見が寄せられました。また、電子化に移行する場合、完全電子化と希望者には冊子体を送付すべきとの意見がそれぞれ半数となりました。電子化に移行した場合に、学会誌に投稿するか、閲覧するかとの問いに対しては投稿を避けるが13%、閲覧機会は減るとの回答が17%になり、投稿数と閲覧機会の減少が懸念事項として残りました。今後、電子化への移行手続きを進めるにあたり、投稿数および閲覧数を一層高めるために、採択原稿の早期公開やメールニュースによるリンクの配信など電子化の長所を最大限に生かすとともに、利便性と魅力向上を図る方策を検討してまいります。

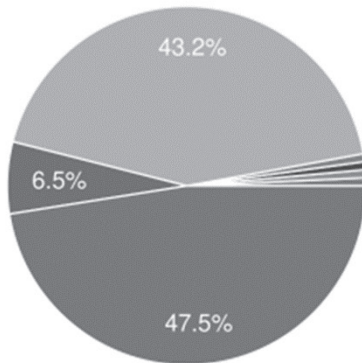
電子化についてご回答ください。

139件の回答



会誌電子化の形態についてご回答ください。

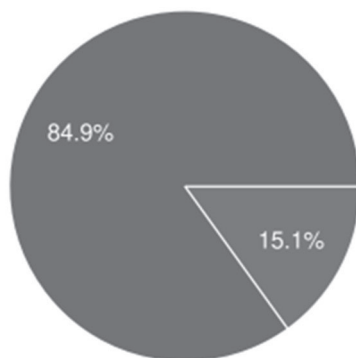
139件の回答



- ・ 電子媒体のみ (PDFのみ) (47.5%)
- ・ 電子媒体+紙媒体 (会員希望者に配布) (43.2%)
- ・ 電子媒体+紙媒体 (会員全員に配布) (6.5%)
- ・ 電子媒体のみで会費値下げ (6.5%)
- ・ 紙面を縮小してでも全員に配布するものを残すべき。(0.7%)
- ・ 電子媒体・紙媒体を選択できるようにする (電子媒体のみ、紙媒体のみ、両方の3パターン。紙媒体コストが高いのであればパターンに応じて学会費に差をつけてもよい)。(0.7%)
- ・ 「塑性と加工」は電子媒体とし、ぶらすとすは電子媒体+紙(全員に配布) (0.7%)

「紙媒体での配布」とお答えいただいた方に、論文誌・会報誌の紙媒体での印刷の維持と年会費の関係について、会誌配布を継続する場合の方針をご回答ください。

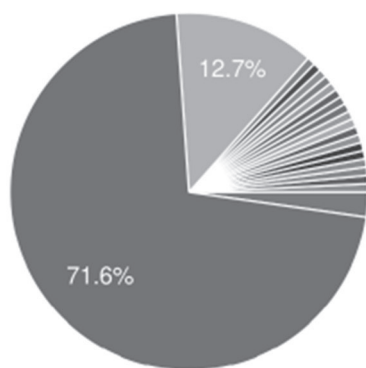
73件の回答



- ・ 希望者配布で年会費と別途支払い (84.9%)
- ・ 全員配布で年会費増 (15.1%)

論文誌「塑性と加工」が完全電子化した際に、今後の投稿予定はいかがでしょう？

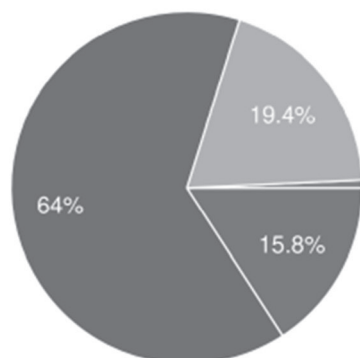
134件の回答



- ・これまで通りの投稿頻度（71.6%）
- ・投稿をさける（12.7%）
- ・積極的に投稿する（2.2%）
- ・投稿したことはありません（0.75%）
- ・ほとんど投稿したことがないので（0.75%）
- ・今まで投稿を行ったことはありません（0.75%）
- ・いずれでも投稿予定はない（0.75%）
- ・機会があれば投稿したい（0.75%）
- ・引退しており、電子化の有無に関わらず投稿予定なし（0.75%）
- ・研究終了（0.75%）
- ・電子化に関わらず投稿の予定なし（0.75%）
- ・投稿した実績がない（0.75%）
- ・現在は専門分野と関係のない業務を実施しているため、専門分野に近いことを実行するようになれば投稿を考える。（0.75%）
- ・従来から投稿無し（0.75%）
- ・予定なし（0.75%）
- ・現在も投稿していない、これからも投稿しない。（0.75%）
- ・情報収集目的で読むのみです（0.75%）
- ・申し訳ありませんが、投稿したことはありません。（0.75%）
- ・投稿実績ありません（0.75%）
- ・状況判断（0.75%）
- ・元々、投稿をする職種ではない（0.75%）

会報誌「ぶらすとす」が完全電子化した際に、今後の記事閲覧する予定はいかがでしょう？

139件の回答



- ・これまで通りの閲覧頻度（64%）
- ・閲覧機会は低下する（19.4%）
- ・積極的に閲覧する（15.8%）
- ・PDFでの検索が可能になるので、これまでより閲覧機会が増えると思われる。（0.8%）

以 上